



福岡県小郡市大板井1143-1
電話番号 0942-72-7221
FAX 0942-72-7222



発行人
こぐま福祉会 編集委員会



<http://www.koguma.ed.jp>



作業療法士
たかほし さおり
高橋 さ織

こんにちは。作業療法士の高橋沙織です。利用者の方々、保護者の方々からは、『高橋先生』『沙織先生』『古賀先生』といろんな呼び方で呼んでいただいています。『古賀』は私の旧姓です。結婚して現在は鳥栖市に住んでいます。幼稚園からの二十年を小郡市で過ごした私は、周囲に『古賀さん』が多く、珍しい名字に憧れ、『結婚したら、すぐ新しい名字で呼んでもらいたい！』と心の中でいつも思っていました。でも、こぐまのスタッフと結婚したために、そのことが今、周囲の方々に『どっちの高橋？』『紛らわしいなあ』と思わせてしまう原因となってしまっていて、ちょっと申し訳なさを感じています。さらに実際に結婚して名字が変わると、珍しいどころか全国の名字ランキングで三位の名字となり、ちょっと複雑。また、実家が大好きだった私にとって、今では少数派となった『古賀』と呼んでいただけていることも嬉しく思う今日この頃なのです。

先ほども書きましたが、私は小郡市で育ったため、利用者の方々の中

には、幼稚園や小学校の先輩、後輩の方がいらつしやって、一緒に園歌や校歌を歌ったり、地元の話題で盛り上がることも多々あります。小さい頃から『こぐま学園』という名前が聞いたことがありましたが、どんな所なのかは正直知りませんでした。しかし今考えてみると、小郡という共通点だけではなく、こぐまといろんな縁があつて、今私はここにいらんだなあと感じています。

私は、小さい頃は病気がちで、また全身アトピーだったため、毎週のように病院通いをしていて、その頃から医療関係の仕事に興味を持ち、将来は医療関係の仕事に就きたいと思っていました。高校生の時にいろいろな医療職を調べる中で『作業療法士』という職業を知り、専門学校に入学しました。作業療法にも分野があります。少しでも自分の幼少期の経験を活かすことができればと思い、学生の頃からずっと発達の分野に進みたいと思っていました。そんな中、専門学校二年生のときに一つの出会いがありました。当時母がパートでお世話になっていた所で、私もゴールデンウィークにバイトとしてお手伝いさせていただいたのですが、そこで出会った方が、こぐまの元職員さんだったので。その方に、夏の療育キャンプにボランティアとして参加できることを教えていただき、応募して三泊四日のキャンプに参加しました。それが、こぐまとの出会いでした。キャンプは楽しかつ

た思い出、大変だった思い出が半分ずつでしたが、『発達分野を、そしてこぐまをもっと知りたい！』と思い、就職活動の際に施設見学に来ました。その後、就職試験を受けようと決め、私の学校のこぐまの元職員の先生に相談に行きました。すると今度は、岸統括も同じ学校の出身で、さらに、その先生と岸統括は同じクラスだったということも教えていただきました。そのことを聞いたとき、私はとてもこぐまに親近感を抱き、『私、こぐまと縁があるかも！』と思い、そのことを強みだと勝手に思い込んで就職試験に臨みました。そして現在に至ります。

就職して五年目になりますが、日々勉強させていただきながら、楽しく、充実した毎日を送っています。こぐまと出会い、こぐまの職員と出会い、主人と出会い、そして利用者の方々やそのご家族と出会い：縁から縁が生まれて、いろいろな縁によって、今の私の生活は成り立っているんだなと感じています。その縁に感謝しつつ、また、これから縁を繋げられるようなお手伝いができたら：と思っています。



就労セミナーを行いました

十一月九日（金）就労移行支援事業所 Work Step 主催で就労セミナーを行いました。

司会進行から受付、来賓の方のお茶出しまで、全て訓練生で行いました。大勢の方々の前で発言するのは、とても緊張している様子でしたが、練習の成果もあり、大きな声ではつきりと司会をすることができました。受付では、来場者の方々に笑顔で対応することができました。

セミナーは、就労から生活までの幅広い分野の方々から講話をして頂きました。その中でも特に、ケアホームの方々からの講話の中で、「地域の方々とのふれあいの大切さ」を語って頂いたことが、就労を目指す訓練生の心に残っていたようでした。

また、グループディスカッションでは、「幸せ」「夢」「働く」について意見を出し合いました。皆様から多くの意見を出していただき、訓練生にとって、大きな刺激となりました。この度ご参加頂きました皆様、お忙しい中、ありがとうございます。

（職業指導員 吉浦）



企業の方からの講話



グループディスカッション

合同学会報告

十一月十七日（土）、十八日（日）に長崎市で開催された「第三十四回九州理学療法士・作業療法士合同学会」に参加してきました。今回は「安心と希望のリハビリテーションに向けてセラピストの役割を考える」というテーマで、当福祉会からは、シングルケーススタディと姿勢ケア外来に関する報告を、理学療法士の田中・山下彩でそれぞれ発表させて頂きました。

九州各地から多くの方が参加され発表ではアドバイスや質問をいただきました。緊張もしましたが、多くの意見や情報交換ができ、とても良い刺激となり、充実した二日間となりました。（理学療法士 山下彩）

全国児童発達支援協議会 報告

十一月二十二日（木）、二十三日（金）に鳥取県米子市で開催された『全国児童発達支援協議会 肢体不自由部会 中四国・九州ブロック職員研修会』に八名のスタッフが参加してきました。

鳥取大学大学院の井上雅彦教授からの『発達障害児の家族支援』と題した記念講演、演題発表など、自分たちが行っていることを見直し、また他施設がされていることを学ばせていただく、よい機会となりました。今回学んだことを、今後のよりよい支援に繋げていきたいと思えます。（作業療法士 高橋沙織）

広汎性発達障害を持つ子どものための学習会

先月号でもお伝えしていましたが、子どもをより理解するため、子育てのお役に立てるように保護者向けの学習会を計画しています。

対象 未就学児の保護者
日時 12月13日（木）
10時～11時30分
内容 コミュニケーションについて
場所 アリーナ棟

詳しくは案内用紙をご覧ください。（研修委員 菊地）

餅つきのご案内

日本の伝統文化に触れ、ぜひ、つきたてのおいしいお餅を食べに来てください！どちらも雨天決行です♪

○こぐま福祉会○
日程 12月26日（水）
27日（木）
10時～16時30分
（餅つき実行委員 一木）

○尾久保研修所○
日程 12月23日（日）
9時～
（みんなの館）

寄付いただきました

小郡商工会女性部様よりお花の苗を、中山景子様（中山報恩会理事長）より寄付金を頂きました。ありがとうございました。

出産おめでとう！

十月十三日、理学療法士・作業療法士の田中さんご夫婦に長男が誕生しました！名前は旺佑（オウスケ）くんです。おめでとうございます！

新入職員紹介

●受付
●一般社団法人
全国児童発達支援協議会 事務員



いわい なほこ
岩井 尚子



なかしま みあき
中島 未明

よろしく願います！

行事予定

- 五日（水） 避難訓練
- 六日（木） 天使幼稚園交流保育
- 十三日（木） 広汎性発達障害を持つ子どものための学習会
- 二十一日（金） 三国保育所交流保育
- 二十三日（日） 尾久保もちつき・クリスマス会
- 二十五日（火） クリスマス会（こぐま福祉会）
- 二十六日（水）・二十七日（木） もちつき（こぐま福祉会）
- 二十九日（土）～一月四日（金） 年末年始休暇
- 一月五日（土） 療育開始



ボウリングに行きました

十月二十六日(金)に、生活介護事業所『べあくクラブ』で、筑紫野パルクへボウリングに行きました。皆さん、練習の成果を発揮し、ゲームは大接戦!スペアやストライクも出て、とても盛り上がりました。『スポーツの秋』らしく、たくさん運動し、皆さんリフレッシュした表情が見られました。

(生活支援員 石橋)



ついにこの日がやってきたぜ♪

今年も楽しかったー!
また来年に向けて練習頑張るぞ♪



私が優勝しました☆



愛らんど宿泊体験

十一月十七日(土)・十八日(日)生活介護事業所『愛らんど』で、夜須高原の「やすらぎ荘」へ宿泊体験に行きました。

初日は、体育館や森で身体を動かしたり、記念品のキャンドル制作をしたりして過ごしました。力いっぱい身体を動かした後の食事はとても美味しく、大浴場での入浴の気持ち良さは一とおでしした。

二日目は、朝倉市の障害者支援施設「千代の里」の文化祭に参加しました。『芸術の秋』ともあり、入所者が制作した陶芸、手工芸、絵画作品が所狭しと展示してありました。自分の持てる力を充分に発揮した様子を伺わせる力作と斬新なアイデアに感銘を受けました。

二日間で、紅葉や芸術に触れる大変秋らしい宿泊体験となりました。ぜひ、皆さまも足を運んでみては、いかがでしょうか。

(生活支援員 北岡)



記念の森散策



スポーツの秋♪

ハンドサイクル体験教室&研修会を行いました!

十一月三日(土)、NPO法人アダプティブワールドとエコロジカル研究所主催、こぐま福祉会後援にて二大イベントを行いました。

午前中は、ハンドサイクル・トライク体験教室。『障害を持った子ども達でも乗れる自転車・三輪車』で、十五名の参加者が鳥栖市東公園で家族やお友達と一緒に楽しく遊ぶ事ができ、大いに盛り上がりました!

午後からは斉藤直さん、野村寿子さんの講演と、午前中の体験教室の理論的な説明や「遊ぶ事」「動く事」の重要性についての話を聞くことが出来ました。参加者も百名近くになり、保護者やセラピスト、子どもと関わる様々な職種の方が参加され、興味・関心の高さを感じました。

今回、九州初の体験教室&研修会で、充実した一日となりました。来年も是非開催したいと思います。

(理学療法士 木下)



賢く食べて冷えた体を温めましょう♪

鮭のミルク煮

あったかメニューの紹介

冬においしい鮭は胃腸をあたため消化吸収を助けてくれます。今回はその鮭を使った給食献立をご紹介します。(管理栄養士 一木)

材料(4人分)

- 無塩鮭(皮・骨なし) 160g
- 玉葱 1/2 玉
- 人参 1/4 本
- 白菜 1/8 玉
- しめじ 1/4 パック
- じゃが芋 1 個
- 油 少々
- 牛乳 200 cc
- 水 50 cc
- とろけるチーズ 20g
- コンソメ 適量

作り方

- ① 野菜を食べやすい大きさに切り、油で炒める。じゃが芋を加えて水を入れ、煮込む。
- ② 鮭は食べやすい大きさに切って①の鍋に入れ、さらに煮込む。具が煮えたら牛乳を入れ、コンソメで味を整える。
- ③ 火を消す直前にチーズを入れて、出来上がり。

鮭には生活習慣病の予防に役立つIPAやDHAも含まれています。

これらがしっかり摂れる調理法として

- * アルミホイルで包んで蒸し焼き
- * 小麦粉を付けて焼くムニエル、揚げ物
- * 汁物やシチュー

などがあります。



心の窓



つみりみ 堤梨美さん



はじめまして、美です。小学三年生の、本を、こと、絵を書くことが好きな女の子です。今は作業療法での療育に月に二回、八女市木から通っています。夏の療育キヤンプの場所の、です。

美は、心室中、があり、をひくと、を、発し入院をりしており、元気に育ってくれるのか不安でした。一になり手術を受けることができ、それからをこじらせることも少なくなり、体も強くなりました。

二、前から、近くの保育園に通い始め、んこ、水遊び、リム運動、外でたくさん遊び過ぎてきました。三、頃、お友達、先生との関わりの中で、特、が目立つようになり、近くの病院に、へ行き、療育を受け始めました。々と進んでいく療育にこれでいいの不安、問を持ちながら通っていました。

その頃、の子育て学に通ってました。その学、に指導者としてこぐま学園から作業療法士、保育士の先生が来ていたっていました。

美は毎回楽しんで参加してました。歌や遊びゲームの中でルールを、お話が聞けるように、していただき、お友達とも、ずり、ずられができ、こんな療育が、美には合うんだらうなと思うようになりました。それからこちらでの、を受け作業療法を開始していただき、好きな遊びの中でいろんなことを学んでいきました。

小学生になり、お友達も、えました。美の特、がお友達には、で？と分からず、お、いに、な思いをするということもあるようです。美のどうして？に、えるのに、私の説明では伝わらないこともあります。その時には立山先生に、えていただいたり、一緒に考えたりしていただき、助かっていきます。

近では、手な運動ですが、スイミングの、テストに、一年かかって合、し大、び、乗れなかった自転車にもスイスイ？、びも少しずつ、べる回数が、えてきました。習字も、が上がるのがうれしかったです。習字も、ピア、も発表会に向け練習、張っています。好きなことも、手なことも、ヤレンジする、美を応援しています。いろんなことを経験して、良いところはもっと、びるよう、自につながるよう願っています。

いつも笑顔で、えてくれる立山先生、当ではなくても、を聞いてくれる先生ありがとうございます。今後、しくお願ひします。

(美の母)

放課後等デイサービスグループ紹介

○へりこぷたーグループ○



ぶるんぶるんぶるん

幼稚園や保育園に通っている11名のお友達が毎週土曜に活動しています。11月はこんな療育の内容でした！

◎11月10日『お散歩！』

あいにくの天気で、こぐま館内の探検。みんなで地図を見ながら目的の場所を探索しその場所で提示される課題(みんなで絵を描く)(サイコロで目標の数を出す)等に挑戦しました。ルールを守りながらお友達と協力することが目標です。館内は走り回らず、みんな一緒に、列を作り移動しました。

◎11月17日『身体で遊ぼう』

自分の体をいろいろ使って遊びました。絵やモデリングを見て、普段しない様な運動に挑戦しました。不安定な所に登ったり、工夫してボールを蹴ったり、アタマを使ってカラダを使います。幼児期は、楽しみながら自分の体をしっかり使えるようになる事が大切で、子ども達のこれからの様々な発達の土台になると考え活動しています。

◎11月24日『オニごっこ』

怖いオニに全員で団結し立ち向かいました。ルールを守りながらお友だちと楽しく遊ぶ経験を十分にすることが、これからの社会参加の基礎になると考えて活動しています。

★「集団療育」で子ども達は、させられるのではなく、自分から力いっぱい遊びながら、それぞれの苦手な事にもチャレンジします。(言語聴覚士 福田)

○ほしグループ○

現在小学校1年生から4年生の15名で2つのグループに分かれて『友達と活動を共有できる・場面にあった行動ができる・一斉指示を理解し、活動ができる・相手の動きに協調できる』ということを目指して活動を行っています。

活動の前半は、「こんなことができますか」というジェスチャーゲームを行っています。上半期は、スタッフのジェスチャーを真似していましたが、最近は子ども達に前に出てきてジェスチャーしてもらっています。最初は、恥ずかしくて前に出ることができなかった子ども達も、今では恥ずかしながらも前へ行き、自分で考えたポーズを披露してくれています。

活動の後半は、お友達と協力して行う活動や、チーム対抗戦を取り入れた活動など楽しく行っています。特にチーム対抗になると、みんな気合十分で参加し、にぎやかなほしグループです。(保育士 伊藤)



気持ちを合わせていち、に、いち、に！